

# いわて復興だより

がんばろう！岩手、つながろう！岩手

## 三陸復興

第51号  
(平成25年11月1日号)  
岩手県

### 復興に向けて歩んでいる岩手の今を紹介します

平成23年3月11日に発生した東日本大震災津波。発災以来、全国そして海外からも多くの温かい励ましや御支援をいただいております。心から感謝申し上げます。この「つながり」を大切にしていきたいと思っております。

山々の紅葉も進み、本格的な秋のはじまりを感じる今日この頃。

復興に向けて歩み続ける岩手県の今を紹介します。

## 希望郷いわてスポーツフェスタが開催されました 北上市

10月19日(土)、「希望郷いわてスポーツフェスタ」(主催：希望郷いわて国体・希望郷いわて大会実行委員会)が、北上市の北上総合運動公園で開催されました。

このイベントは、2016年に岩手県での開催が決まった国民体育大会(希望郷いわて国体)と全国障害者スポーツ大会(希望郷いわて大会)を記念したものです。3年後の開催を前に、スポーツの魅力を感じられるイベントとなりました。

セレモニーでは、達増知事が「希望郷いわて国体、希望郷いわて大会を契機に復興を力強く進め、復興を成し遂げつつある岩手の姿を全国の皆さんに見ていただく、かつてない大会にしたい」と挨拶。山岳競技の国体強化選手である山内響(ひびき)さん(盛岡市立見前中学校

3年)は「東日本大震災津波で、いまだに大変な思いをされていらっしゃる方々がたくさんいる。その方々のためにも、私たち若い世代がいわて国体を盛り上げ、感動していただけるように競技に取り組みたい」と力強く決意を述べました。

会場では、大槌町出身の歌手、白澤みさきさんが大会のイメージソング「笑顔の賛歌」を初披露。

また、スポーツの魅力を広めようと、サッカー元日本代表の福田正博さんや、バレーボール元日本代表の山本隆弘さん、女子柔道の田辺陽子さん等、アスリートによるトークショーやスポーツ教室も開かれ、参加者たちは、さわやかな汗を流しながら、アスリートとの交流を楽しんでいました。



達増知事のスピーチ



参加したアスリートのみなさん



サッカー教室の様子

## 三陸沿岸道路「普代道路」が開通しました！

～県内の三陸沿岸道路では初の開通～

普代村

10月13日(日)、三陸国道事務所が事業を進めてきた三陸沿岸道路「普代道路」が開通しました。

「普代道路」は、三陸沿岸道路(延長359km)の一部を構成する延長4.2kmの自動車専用道路。昭和63年度に事業化された後、三陸北縦貫道路の一部として国による整備が進められ、東日本大震災津波以降は、三陸沿岸道路(復興道路)の一部となりました。今回の開通は、県内の三陸沿岸道路では初の開通となります。

当日は、開通に先立ち開通式が行われ、達増知事をはじめ、開通を待ち望んでいた多くの地元の方々が参列し、喜びを分かち合いました。

「普代道路」の開通により、防災力の強化や安全性の向上、救急医療施設への搬送時間の短縮及び沿岸地域における南北の繋がりの強化等、被災地域の復興をけん引していくことが期待されています。



開通式のテープカット



普代道路開通の様子

### いわて復興応援団(員)大募集中！

知って、買って、食べて、行って応援！

登録無料



首都圏等にお住まいの方を対象に、応援団員(個人)と応援団(法人及び団体)の登録を募集しています。登録者には岩手県の復興の取り組みや観光・物産・首都圏でのイベント情報などをお届けします。

詳しくは岩手県東京事務所ホームページをご覧ください。

[いわて復興応援団](#)

[検索](#)

# 被災遺児家庭支援事業 「パパイチクッキング」 が開催されました

釜石市

10月27日(日)、釜石地区合同庁舎で、「パパイチクッキング(主催:沿岸広域振興局保健福祉環境部福祉課/NPO法人子どもグリーンサポートステーション)」が開催されました。

これは、東日本大震災津波によって母親を亡くし、遺児家庭となった父親と子どもを対象に、簡単な料理づくりを楽しみながら親子の交流を深めてもらおうと企画されたもの。昨年に続き、今回は4回目の開催です。

今回のメニューは、「彩りおにぎり」と「餃子」。日頃、家事や料理が苦手なお父さんも、お子さんと一緒にこの日の料理づくりに奮闘。時折笑顔がこぼれる、和やかな雰囲気イベントとなり、参加したお父さんからは、「日常生活・育児等について、他の親子との交流も深めら

れた」との感想が聞かれました。

次回「パパイチクッキング」は11月10日(日)、23日(土)に開催される予定です。



親子で作った「彩りおにぎり」と「餃子」

## 青木功さんと日野皓正さんが県庁を訪問、寄附金を贈呈いただきました。

10月18日(金)、プロゴルファーの青木功さんとジャズ・トランペッターの日野皓正さんが県庁を訪れ、達増知事へ「いわての学び希望基金」への寄付金目録を贈呈されました。

これは、東日本大震災津波で被災した子どもたちへの支援を目的として開催されたゴルフ大会「ザ・レジェンド・チャリティプロアマトーナメント2013(大会実行委員:青木功さん、日野皓正さん、王貞治さん)」で集まった寄付金の一部を、一昨年、昨年に続きご寄付いただいたものです。継続的なご支援に感謝いたします。



贈呈式の様子

(写真左:青木功さん、写真右:日野皓正さん)

被災地・三陸の復興へ向け、多くの若者が情熱を注いでいます。連載「未来のさんりくびと」では、毎号、復興への熱い想いを秘めた若者を紹介していきます。

第8回目は、岡本 翔馬さんを紹介します。

### PROFILE

陸前高田市出身。高校卒業後、仙台の大学を経て東京で建築の仕事に従事。

東日本大震災津波発災後の2011年5月末に退職。陸前高田市へ戻り、同年9月より「桜ライン311」の活動を始める。

2012年5月に「桜ライン311」をNPOとして法人化し、現在、代表理事を務める。

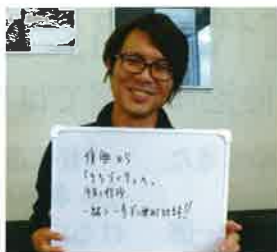
### 故郷の記憶と教訓を残すために

東日本大震災津波発災後の5月、「故郷でやるべきことがあるのではないかと考え、東京の仕事を辞め、陸前高田へ戻った岡本さん。

岡本さんが代表理事を務めるNPO法人「桜ライン311」は、陸前高田の津波到達地点に桜



NPO法人桜ライン311 代表理事  
岡本 翔馬  
(おかもと しょうま) さん



岡本さんからのひと言:  
復興から「まちづくり」へ。  
市民と行政、一緒に一歩ずつ進  
めていきます!

を植樹する事業を主軸としています。

陸前高田の津波到達地点を結ぶと、その距離およそ170km。そのラインを示すように10m間隔に桜を植え、最終的には1万7,000本の植樹が目標。再び津波が来たときには、桜並木よりも上に避難してもらおうというものです。

「震災はどうしても風化していきますが、記憶だけに頼らず、この桜のラインを残すことで、東日本大震災津波の記憶と教訓を残したい」と岡本さん。

### 時間をかけるところは時間をかけた復興を

「陸前高田市の場合、一からまちを作り直さなければなりません。復興は速いに越したことはないですが、時間をかけるところは時間をかけていかないと良いまちにはなっていないと思います。例えば、半年で計画して作ったまちが、住民にとって住みよいまちかというとなかなか難しい。住民中心のまちづくりが重要」と、復興への想いを語りました。

### 岩手県の被害状況

平成25年9月30日現在

### 皆様のご支援、ありがとうございます

平成25年9月30日現在

- ▶ 人的被害 死者: 4,672名 行方不明者: 1,144名
- ▶ 建物被害(住家のみ、全半壊) 25,023棟

- ▶ 義援金受付状況 約178億4,914万円(86,753件)
- ▶ 寄付金受付状況 約166億1,792万円(6,310件)
- ▶ いわての学び希望基金受付状況 約59億6,433万円(11,139件)

被害状況等の詳細

義援金・寄付金の募集等

いわて防災情報ポータル

検索

※被災した子どもたちが勉強やスポーツ等に励めるよう「くらし」「まなび」の支援に使われます。

ビジュアル豊富に【いわて復興だより Web】がスタートしました。http://iwate-fukkoudayori.com

いわて復興だより 第51号 平成25年11月1日 企画・発行:岩手県復興局総務企画課 ☎019-629-6925

いわて復興だよりバックナンバーは

いわて復興だより

検索

編集・印刷:シナプス